

広島県中小企業団体中央会 2015年7月分情報連絡一覧表

(食料品)

●食料品

中国醤油醸造協同組合

7月の出荷量は前月比4.8%増加、前年同月比4.5%減少、売上高は前月比6.2%増加、前年同月比3.5%減少となった。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

平成27年6月の全国新設住宅着工数は88,118戸で、前年同月比では16.3%増加となった。また、季節調整済年率換算値では103.3万戸（前月比13.4%増加）と18ヶ月ぶりに100万戸を越す数字となった。利用関係別にみると、持家は26,643戸で前年同月比7.2%増加、貸家は35,600戸で前年同月比14.6%増加、分譲住宅は25,489戸で前年同月比31.3%増加となった。なお、木造住宅着工数は46,151戸で、前年同月比8.9%増加となった。

住宅着工の動向については、昨年4月の消費税増税前の駆け込み需要の反動減もあり、前年同月比で減少が続いていたが、このところ4ヶ月連続で増加となっている。住宅着工は、消費税増税前の駆け込み需要の反動減の影響が薄れ、持ち直していると見られ、反動減の大きかった持家も2ヶ月連続の増加となった。今般の経済対策等の効果の表れだと思われるが、引き続き今後の動向をしっかりと注視する必要がある。

こうした全国の動きに呼応し、広島県内の着工数は1,476戸で前年同月比14.7%の増加となった。このうち、持家が508戸で前年同月比4.7%の増加、貸家は583戸で前年同月比14.5%の増加となっている。また地域別では、福山市は着工戸数188戸で32.4%減少、このうち持家は103戸で14.9%の減少、貸家が77戸で20.6%の減少となったものの、広島市は着工戸数670戸で32.4%の増加、このうち持家は、172戸で44.5%の増加、貸家は281戸で20.6%増加とプラスに転じ、県内全体では徐々に回復基調にあると思われる。しかし、組合員からの聴き取りでは、製材部門などは依然経営状況は厳しく、今後の動向をしっかりと注視していく必
福山木材協同組合

住宅着工が良くなってきている。しかし、備後地区はあまり芳しくなく、不安はある。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

円安の進行にもかかわらず、国内景況感の改善は感じられず、特に自動車業界においては、自動車メーカーの好決算に対して部品メーカーは国内生産台数減、プライスダウン要請、また原材料費、人件費の増加を受け、大変厳しい状況にある。円安効果には疑問を感じている。今後アメリカの金利引き上げが実施されると、さらなる円安状況を招き、国内物価状況、国債の信認低下が起きる可能性も考えられ、安心して国内で雇用拡大、投資拡大をする雰囲気ではない。さらにギリシャの動向次第で世界経済が大きく影響を受ける不安を感じている。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

7月の自動車関連企業の売上は、若干良い傾向にある。しかし、全体的に売上は横ばい傾向である。消費財市場への販売に勢いは感じられない状況である。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

27年7月 2,945 m³ (対前年比 14.5%減少)

27年6月 2,688 m³

26年7月 3,444 m³

(鉄鋼・金属製品)

●鉄鋼業

軋鉄鋼協同組合連合会

スクラップの買取価格が下落しており、鋼材などを自社で仕入れて加工する企業は利幅が減少するため、経営が苦しい。

(一般機器)

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

前月比 5%増加、前年同月比 7%増加となった。

協同組合三菱広島協力会

広島県西部観音地区においては、コンプレッサ関係が10月頃まで低操業のため、それに伴い協力会社各社の操業も低調である。

江波地区においては、航空機関係の高操業に対応するため、工場を拡張中で、それに伴い協力会社各社は高操業が続いている。

(電気機器)

●電気機械器具

(電気) 広島県東部機械金属工業協同組合

今月は、前月比、前年同月比共に変化なしとなった。輸出物件が減少している。

人の集まりがよくない。特にパートタイマーの集まりが悪い。賃金の高騰が続いているので、収益や人員確保に大きな問題がでている。賃金の高騰の原因となっているため、人材派遣会社の規制が必要だと思う。

省エネルギー補助金を増やしてほしい。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具(自動車)

東友会協同組合

7月の国内自動車販売台数は全需が425千台、前年同月比 7.6%減少と7ヶ月連続の前年割れとなった。登録車は前年比 1.3%減少と2ヶ月振りの前年割れ、軽自動車は 18.1%減少と7ヶ月連続の前年割れとなった。マツダ車は 35%増加と5ヶ月連続の前年超えとなった。

アメリカの6月の全需は1,477千台で前年同月比 3.9%増加と16ヶ月連続の前年越え。マツダ車は同 3.9%増加と2ヶ月振りの前年越えとなった。

欧州の6月の全需は1,548千台で、前年同月比 6.2%増加と3ヶ月振りの前年越えとなった。マツダ車も同 2.6%増加と3ヶ月振りの前年越えとなった。

中国の6月の全需は2,051千台で、前年同月比 11.1%増加。マツダ車は 14.2%増加と5ヶ月連続の前年超えとなった。

上記各地域の状況下、マツダ車の6月の海外販売合計台数は108千台、前年同月比 11.4%増加で24ヶ月連続の前年越えとなった。

マツダは北米・欧州向けを中心に輸出台数の前年比マイナス幅が大きく、全体では前年比 11.5%減少と 11 ヶ月連続の前年割れとなった。

マツダの 6 月の国内生産台数は、前年同月比 7.7%増加と 10 ヶ月連続の前年越えとなった。

●輸送用機械器具（造船）

中国地区造船協議会

県内、2,500 総トン以上の平成 27 年 7 月の船舶建造許可実績は 3 隻 132,340 総トン（前月 7 隻 305,100 総トン、前年同月 4 隻 122,700 総トン）であった。なお、全て貨物船で、1 隻が国内船、2 隻が輸出船となっている。

（社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

●輸送用機械器具（造船関連団地）

呉鉄工業団地協同組合

原材料の高騰により、収益性が悪化している。

（その他）

●家具・装備品

広島家具工業協同組合

引き続き厳しい状況である。

（卸売業）

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

景気が緩やかに回復基調にあり、当団地に進出したいといったニーズが増加傾向にあるが、商工センター管内に空き物件が乏しく、ニーズに対応出来ない状況である。

「資材関連」においては、公共事業・民間設備投資は前年を下回っているが、新設住宅着工戸数は前年を上回っている。職人不足を背景に建築単価は依然高水準である。

「食品」においては、外食産業向け売上は、6 月は天候不順で伸び悩んだが、7 月は概ね前年並み程度となった。ただし、近年は価格競争が激しく、粗利が 5 年前と比較し、大幅に低下している。

「繊維」においては、婦人下着は、ようやく夏らしい天候となり、販売先小売店の販売が好調である。婦人服もほぼ前年並みの売上で推移している。

「雑貨」においては、外国人の爆買いが生活雑貨にも及んできている。メーカーは計画生産を行っており、卸に対する製品数量の割当は限られているが、爆買いにより、紙おむつ、マスク、シャンプー、蚊取機器等が品薄になっており、追加の発注は困難な状況である。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

照明器具メーカーにおける LED 照明器具の採用率は 70%を越え、今後も採用は増える見込みである。各メーカーとも商品ラインナップを充実させ、採用獲得に向け、情報発信している。しかし、実際 LED のリニューアルを検討されている企業はあるものの、その普及率は低いと考えられる。リニューアル市場に対し、安心安全な商材の提案と、補助金、税制優遇等を絡めた提案活動に努め、市場獲得に力を注いでいかなければならない。

●卸売業（畳・敷物）

広島県畳製品商業協同組合

国内では、「い草」の収穫は 7 月中旬頃には終わり、今は倉庫にて寝かせている状態である。草丈は、やや例年より短い、製織には問題ないようである。この「い草」を畳表とし

て織り始めるのは盆明け頃となる見込みである。

一方、中国産地（四川・寧波）では6月には収穫を終え、草丈も140 cm～150 cm程度とまずまずのようである。

国産・中国産のいずれでも、畳表の相場は横ばいで推移するものと見ている。しかし、需要と供給の関係もあり、9月以降の動向が今後の鍵になると思われる。

（小売業）

●各種商品小売業

協同組合三次ショッピングセンター

毎年7月に開催される花火大会が延期となり、来店数は減少した。プロ野球の公式戦が三次市内で開催され、チケットが完売し、三次市内はにぎわったが、ショッピングセンターには特に影響はなかった。8月には来店客数が増える可能性はある。

チューリップチェーン商業協同組合

今月の売上は前月比は減少となったが、前年同月比で増加となった。先月同様、新規の得意先の増加と当組合の主力商品である青果物の相場高（特に根菜類と桃）が主な要因である。今年の梅雨明けは平年通りであったが、17日に岡山県倉敷市を北上した台風11号の影響で、その後の岡山産の桃が高騰した（風の影響で落果やスレが多く発生し、出荷率が低下）。また、国道の法面の崩壊により、全面通行止めとなった。そのため、中山間部の方々が街に出ることが出来ず、地元で買い物をせざるを得なくなり、店舗にとっては良い結果をもたらした。しかし、これは裏を返せば、8月のお盆の帰省客が減少することを意味するため、その点が気がりである。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

7月度の販売実績は前年同月比1.2%増加となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比5.3%減少、BDレコーダー同1.4%減少、音響・車載機器同7.1%減少、冷蔵庫同9.5%増加、洗濯機同2.9%減少、エアコン同6.7%増加、エコキュート同1.7%減少、IHクッキングヒーター同3.3%増加となった。

エアコンが好調である。薄型テレビ48型以上の大型画面の販売に動きが出始めた。住宅の増改築が回復基調であることに伴い、IHも少し盛り返している。ただし、将来的に見て、業況が良くなる要因は特に見当たらない。

（商店街）

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

例年通り土曜夜市を7月18日、25日と2日間開催した。今年のはれんがどおり商店街が道路工事で縮小したため、人手は例年になく多かった。

毎月第2、第4水曜日に朝市を開くようになって2ヶ月が過ぎ、お客様にも認知され、少しずつ来店される人が増えてきた。

（サービス業）

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比15.1%減少、前年同月比3.5%増加。車検場収入は前月比14.9%減少、前年同月比3.6%増加。重量税・登録印紙の売上は前月比13.5%減少、前年同月比2.3%の増加となっている。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

看板の危険性に注目が集まり、改修・補強の工事が少しずつ増加している。

●警備業

広島県警備業協同組合

人材不足である。

●情報サービス

(社) 広島県情報産業協会

マイナンバー及びエネルギーの自由化に伴う業界への需要は前月に引き続き継続している。また、需要があるものの技術者不足も引き続き継続している。その影響で過重労働になる従業員も出ているため、対策が必要である。

(建設業)

●工事業

福山地区電気工事業協同組合

7月における工事受注件数は、前月比4%減少、前年同月22%減少となった。

広島県室内装飾事業協同組合

7月の売上については、前月比8%減少、前年同月比10%減少となっている。

前月比で見るカーテン工事が25%増加となったが、敷物工事は横ばいの5%増加、壁装工事は25%減少と大きく減少した。

前年同月比では、カーテン工事については21%減少と大きく落ち込んだが、敷物工事は134%増加、壁装工事は12%減少となった。

工事物件については、前年累計で4%増加と横ばいであるが、企業間における格差は依然大きく、慢性的な技能労働者不足が問題点である。また、高齢化とともに、後継者不足も内装業界全体における大きな課題である。

神辺建設業協同組合

官公庁の上半期の予定案件がほぼ例年並みに発注され、受注工事の増加した業者も見られる。しかし、民間需要は鈍化しているため、業者により、景気動向に格差が見られる。

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島輸送ターミナル協同組合

荷動きが鈍い状態が続いている。車両も不足しがちである。

松永地区トラック事業協同組合

7月の貨物輸送量は、前年同月比で大幅に減少した。軽油価格が多少下がりつつあるが、高止まりの状態を脱していないため、未だに経営に与える影響は大きい。また、燃料サーチャージ制を導入しても現時点では、取引先の理解を求めることは不可能であると思われる。

ドライバー不足は、恒常的に募集をかけても全く反応がない。そのため車両の稼働率も低下している。

アベノミクスにより景気が回復していると報道されているが、金融業界や一部企業のみで、我々運輸業界は未だにその兆候すら見えない。

広島県ロジネット協同組合

7月の荷動きは、後半に気温が急上昇したため、飲料関係の動きが活発となり、出荷量は対前年比30%増加となった。また、関東方面への鉄骨・鋼材なども徐々に動きを見せ始めている。前月の動きが相当悪かったため、7月は例年どおりの動きを取り戻した感がある。ま

た、軽油価格においては、原油価格の値下げ効果もあり、2 円/L 程度の値下げとなった。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高年齢化が進み、船員不足である。若年船員が育たない。

運賃、用船料の改善が見られない。

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

前月比、前年同月比とも特に大きな変化はない。

広島県西部の広島市や他の周辺市町では、地価の上昇する地域が増えているが、県東部の三原市、尾道市、福山市、因島市、府中市や県北部の三次市、庄原市では、地価上昇はあまり見受けられず、依然として下落傾向である。